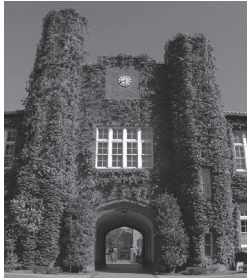




Biz Com

<http://www.rikkyo.ac.jp/sindaigakuin/bizsite/graduate/bizcom.html>



15期生歓迎号 — 新年度を迎えて —

2016
VOL.51

CONTENTS

01 巻頭インタビュー 山中伸彦准教授

02 退任教員紹介

03 授業紹介

04 14期生ビジネスシミュレーション プラン紹介

06 院生活躍中! RBS News&Topics

07 研究会紹介・留学生日より

08 修了生インタビュー

飯塚 正裕先生 荻野 祐太郎先生 山崎 亮先生



立教大学ビジネスデザイン研究科
博士課程前期課程主任

山中 伸彦

Nobuhiko Yamanaka

「志あるビジネスクリエーター
として新たな可能性を
発見して欲しい」

15期生のみなさん、ビジネスデザイン研究科へようこそ! 「過去と、現在と、未来をつなぐコミュニケーションツール」をモットーとした本誌では、今後皆様の役に立つ様な様々な情報を提供しています。今回は「15期生歓迎号」と題して同研究科前期課程主任の山中准教授にインタビューを行いました。これからの2年間を過ごすにあたり、どのようなことが重要なのかお話をうかがいました。

—改めて立教 MBA の強み、良さは?

とにかく自由を楽しんで学ぶことが出来る環境であると感じています。あとは院生と教員、院生同士が非常に親密であることも良さであると感じています。また、他の大学院と比べ、すぐに活用出来る知識のみならず、長期的視野をもって将来に向けて様々な知識を学び、蓄積することに多くの時間を費やしている事も良さであると感じています。

—院生にどのような成長を期待しますか?

大抵の皆さんが社会人として入学されるので、仕事に直結する知識を習得したいと希望されると思いますが、必ずしもすぐに役に立つものが有益とは限りません。そのような学びでは無く、むしろ自分自身の基礎能力を底上げしたり、新たな興味関心や新たな能力の幅を広げられるような学習を期待しています。そうすることでご自分の新たな強みや問題関心を発見できることが多いと感じています。

—社会人を教えるということはいかがですか?

常に自分が試されている気がしています。実際に私は実務家では無いので、授業のなかで社会人の皆さんから理論的な説明に対するフィードバックをいただく事が私にとっても良い学習になっているように感じます。社会人の皆さんが、授業や勉強を通じて理論を学ぶことで、問題発生メカニズムや問題の原因を

理解し、解決にいたるといことも実際にしばしばあります。皆さんが理論を実践することが理論を鍛えることにもなると思います。

—入学後にやっておいた方が良い準備はありますか?

ビジネスデザイン研究科ではサテライトキャンパス型の大学院と違い、皆さんは大学の様々な施設や資源を活用出来ます。ですのでまずはそうした施設や資源をどう活用できるかを先輩などに聞いてみることをお勧めします。特に大学院生は平日夜と土曜日がメインになると思いますので、図書館などは支払っている学費を回収するつもりでどんどん活用して欲しいですね。

—今後の院生に期待することは?(修了生含む)

大学院に進学される方は志も問題意識も高い優秀な方が非常に多いと思います。ぜひその能力を活用して世の中を良い方向に変革して欲しいと考えています。日本ではMBAを取得する事が個人的なキャリアアップや昇給などに直結するような構造になっていません。にもかかわらず大学院で学ぼうというのは、個人的な利害を超えた問題意識や志があるからでしょう。皆さんがそうした高い志を持ち、ビジネスクリエーターとして様々な業界で活躍されることを期待します。また修了後も継続して学び続けて欲しいです。世の中には正解の無い事がほとんどです。その問題を解決する術を自らの手で見つけて欲しいと思いますね。